

Q1 ①のグラフを参考に次の文章のうち正しいものに○をつけ、合衆国への移民の特徴について整理しよう。

- ・1870年以前は、北欧・西欧および(中欧・南欧)からの移民が大半を占めていたが、1870年～89年の間は(アジア・南北アメリカ)からの移民が増加した。
- ・1880年以降は南欧からの移民が増加しており、(1900～09年・1910～19年)の間にピークを迎えている。
- ・1910年以降は北欧・西欧からの移民が減少し、南北アメリカからの移民が(増加・減少)している。

Q2 アメリカへ移住した人たちは、何を求めてアメリカへ向かったと考えられるか。資料をもとに仮説を立てて、その理由を説明しよう。

Q3 下の表⑥の中のそれぞれの国で、移民が多いほうの時期に○をつけよう。

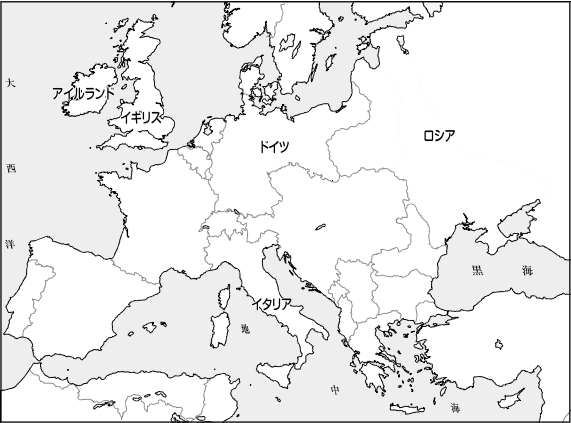
Q4 ロシア、ドイツ、アイルランド、イギリス、イタリアの5か国を、1870～1900年のほうが移民の多い国・地域と、1900～20年のほうが多い国・地域に分け、白地図を別々の色で塗り分けよう。

Q5 図・地図から旧移民・新移民の出身地と地域を読み取り、線で結ぼう。

	〔旧移民〕		〔新移民〕	
	1870～1900年	(千人)	1900～20年	(千人)
スカンディナヴィア	1211	700		
ロシア	920	2519		
ドイツ	2676	486		
アイルランド	1481	485		
イギリス	1612	867		
フランス	154	136		
スイス	142	58		
イタリア	1015	3156		
合計	10600	12096		

▲②ヨーロッパからアメリカ合衆国への移民

旧移民・	・イギリス・	・南・東欧
・ロシア・		
・ドイツ・		
新移民・	・イタリア・	・西欧
・アイルランド・		

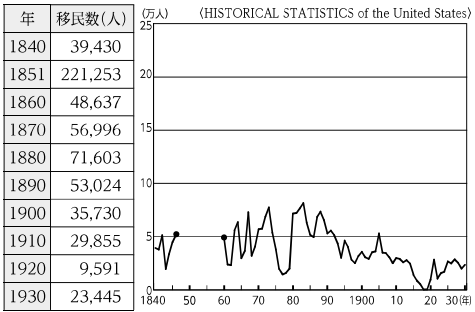


Q6 上の作業を参考に、次の文章のうち正しいものに○をつけ、空欄を埋めよう。

アメリカの旧宗主国の()やドイツなどから土地などを求めてアメリカに移住していた旧移民は、20世紀以降、自国が工業化し生活水準が上がると(増加・減少)した。それに対し、工業化が遅れていた()などから仕事を求めて移住してきた新移民は、工場の労働者として働くものが多かったため、アメリカの工業化が進展するのに従いその数は(増加・減少)した。

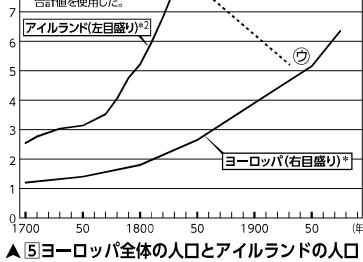
Q7 右の表データをもとに、1851年の移民数の点を入れてグラフをつなげよう。

Q8 グラフの中に書き込んだ大きな変化を起こした背景の出来事はどれか、右の年表から探して ▲③アイルランドからアメリカへ出国した移民の数 ○をつけよう。

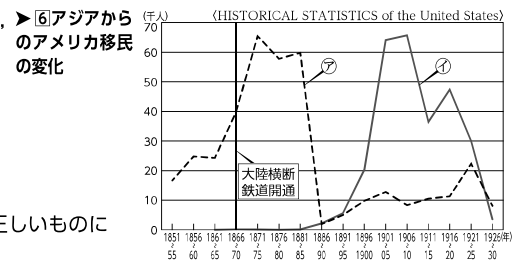


1649	クロムウェルの征服
	…イギリスの植民地に
17世紀後半	じゃがいもが普及
1801	イギリスに併合される
45	大飢饉(じゃがいも飢饉)
70	アイルランド土地法成立
1914	アイルランド自治法成立
22	アイルランド自由国成立

Q9 Q7, 8から、⑤のアイルランドのグラフの続きは㊦、㊧、㊨のどれに近い形になるか考えよう。また、そう考えた理由について説明しよう。



Q10 図⑥のグラフの中に、南北戦争(1865年)、中国人移民排斥法(1882年)、移民法(1924年)の縦線を書き込もう。



Q11 グラフと絵を見ながら、次の文章のうち正しいものに○をつけよう。

・南京条約で開国した中国(清)から、奴隷制度の廃止によって労働力が(余って・不足して)いたアメリカへ人々が移民として渡った。中国系移民はおもに(鉄道の敷設・銀行の経営)など、低賃金で長時間の労働に従事したため、安価な労働力として急速にその数を増やしていった。しかし、彼らによって労働力を独占されることを(おそれた・歓迎した)白人労働者などの世論により、アメリカ政府が中国人移民排斥法を制定したため、中国系移民の数は急激に減少することとなった。

Q12 問「ヨーロッパの人々は何を求めてアメリカへ移民しただろうか」について、自分の見解を180文字以内で説明しよう